



第8回戦略会議レポート

2019/1/29 湯沢町役場



湯沢町を取り巻く平成の観光状況について、TV取材が入りました。

議題① 各WGから進捗報告

■雪国文化研究WG:佐藤座長

- ・インバウンドと石造物。1神教の人に多神教を伝える。
- ・街道沿に1時間～1時間滞在できるプログラムを。
- ・仏教美術、三国神社や思川に残る熊谷源太郎の世界。
- ・各WGと連携しコンセプトを組みこんだ旅行商品化。
- ・地域資源を保全しSDGsを背景に持続可能な観光を。

■食文化ブランドWG:細矢MG

- ・スウェーデンのシェフ、ソフィア氏と精進料理家の棚橋氏とのセミナーを里山十帖で2月6日に開催。
- ・食の学校2019、第1回は5月8日11時～ 料理通信の編集主幹、君島佐和子氏。会費500円。

■スノーカントリートレイルWG:細矢MG

- ・許認可が残っていた区間、国有林の契約が完了。
- ・山と溪谷社から4月号に掲載。今後の活用、宣伝はポスターやMAPをスポーツ店や山小屋、5協会と協定を結んでいる高速SA・PAに掲示。

■観光協会連携推進WG:深津座長

- ・地域の商品をファイルにして見て頂く。販売だけでなく本音で課題共有して解決策への意見交換をしている。
- ・永林寺石川雲蝶や重文目黒邸を訪れて郷土食を食べる会を開催。地域素材の商品化と販売方法に課題。

■ブランドWG:フジノ氏

- 2019雪と旅は雪国文化を紹介。佐藤座長を始め、研究WGのエビデンスを編集メンバーが吸収し加工する。
- ・春 雪国文化の概要
 - ・夏 雪国縄文文化
 - ・秋 文学から見る雪国
 - ・冬 祭りや行事など

雪国観光圏の理念

『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

雪国観光圏のブランドコンセプト

『真白き世界に隠された知恵に出会う』

■女性コーディネイター研究会:細矢MG

雪と旅春号から担当頁を持つ。7つの雪国の女性たちが力強く発信するという意味を込めてセブンスノークイーンズという名前にした。雪国の雪を乾燥していない、潤いのある雪とイメージし、雪国文化を美ととらえ女性らしく共生・共感・美で発信する。

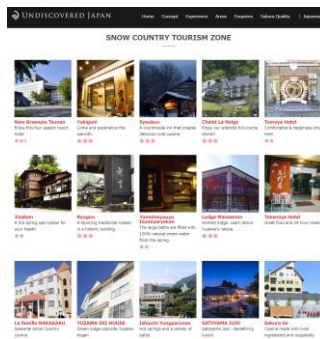
■DCの進捗について 南魚沼市平賀主任 1月の25日にDCの全体ミーティングが開催されプレDCの取組結果や2月の商談会に向けて、本番に向けてなどエリアの報告を行った。今後は観光協会同士の情報共有を進める。DCは通過点なので雪国観光圏がフラッグシップとなり他のエリアをひっぱっていく責務もありDMCを中心として観光地経営を行う。

議題② 事業計画に基づく進捗

■サクラクオリティ参画状況(奥田MG)

サクラクオリティ 1月に2施設を調査しH30年調査完了。2施設は来年にもちこして43施設。前期日程で調査した施設については評価が出ているのでHP掲載。

今年は民宿からの申込があり良い評価を得た(3つ星)。英語に不安もあるが友達にマニュアルを書いて貰ったり、自ら武道を見せるなど独自コンテンツをやっている民宿があり、オーナーの人柄が光る。3つ星の宿はスーパー民宿になっていくかと思う。



■A級グルメ SQ調査時にヒアリングすると地産地消率も高く、制度が定まったら加入するのでは。

全国観光圏推進協議会

【JAL商談会】

- ・JALパック本社にて商談会があり雪国から4名参加。13観光圏の取組と魅力をプレゼンを行った。
- ・JALは飛行機なので、雪国に結びつく話が難しかったが佐渡が関西発でフリープランがあるように、雪国フリープランやオプションツアーが組めないか。
- ・雪国では現在登録も少ないが、ダイナミックパッケージはサイトコントローラーで管理可能で、じゃらんや楽天など他OTAからコピペできるので登録を。
- ・オーストラリアやシンガポールなどインバウンド事業を始めている。

【全国観光圏推進協議会】

観光庁からは次年度補助金について。引き続きインバウンド向補助事業は新規1/2で継続2/5補助。来年度からの新事業としてDMO形成促進事業があり初めて人件費の支援が加わる。実施主体が運輸局。

国民文化祭について

- 魚沼・湯沢エリアの概要と予算について(別紙)
- エリアテーマ 真白き世界に隠された知恵に出会う。
- 事業構想 北越雪譜テレビ番組・講演会・雪国の知恵に触れるツアー、料理教室、雪国文化を学ぶWS、パンフレット作成。予算案のTV制作放送や講演会は県が決めたもので費用は全額県負担。その他雪国の事業を拡大し文化を地域に周知する。各地域に予算配分してガイドや知識を持っている方に学校にいて啓蒙してほしい。雪と旅雪国文化特集記事を買って頂き雪国文化紹介冊子、ツール作成する。

総予算600万の300万を頂いたので啓蒙活動を県と一緒にやりたい。新潟県の事業ではあるが、作成した資料は柴村とみなかみにも配布予定。

■英語ブランディングブックについて 滝沢MG

観光地や買い物という観光行動から文化や暮らしを学ぶ深い旅行を求める方が増えている。雪国観光圏がターゲットとしている欧米・アジアの富裕層には雪国文化がフィットする。暮らしや風土・文化を紹介する媒体がないので英語版のブランディングブックを作成。広告・本誌販売へのご協力を。

- ・限定2000冊 A4版／並製本 120Pフルカラー
- ・売価3000円(税別) 卸売価格1500円(税別)

井口代表理事→湯沢町は年間で40万人が宿泊し、その4割が外国人なので16万人がこの雑誌を読む。湯沢町をゲートウェイとして6市町村に送客してもらうための広告展開となる。冬は宿泊客の5割が外国人だが情報がなく部屋置用に欲しい。

湯沢温泉の旅館には提案し、導入していただくイメージ。

フジノ座長→ 2000冊の広告効果を高くしないとされるかもしれないが部屋数×365日にアプローチできるので、湯沢に部屋置きするものは課題解決のために、お客様との接点になりうるので良い。



■第四銀行様との連携

10月に第四銀行FG設立、4月に地域商社を設立予定。

つなげる・広げる・作り出すをキーワードに新潟県内の事業や雇用を作り出すことを課題とし、経済発展に取り組む。

販路拡大・観光振興・生産性向上を事業の柱に、販路開拓では日本橋三越前の本店1・2階を地域商社直営店舗として商材を並べて情報発信や、Eコマースでの販路拡大を行う。

観光振興は、富裕層・ミレニアル世代をターゲットに情報発信を行う。店舗名はブリッジ新潟。本店は新潟市。東京支店や東京事務所も利用する。

その他、報告事項



- 掲載記事関係 JALゴールド会員向け冊子(AGORA)に雪国観光圏の特集
- 平成30年度視察受け入れ一覧 18回204名さま
- 新規参加者 ㈱HOME 代表取締役 井比氏

*次回戦略会議は2月27日(水)13時30分～湯沢町役場で開催。

連絡先:一般社団法人雪国観光圏事務局
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1
TEL025-785-5353 FAX025-785-6767